令和6年度事業評価結果(課•室)総括表

 会計区分
 一般会計

 課·室名
 保健体育課
 (単位:千円)

																	工主工	•		() () ()		<u> </u>	=177 - 1 1 1 1 1 1
						事	業区	分					財源	内訳				評価	こ基	づく	今後0) 対 [心
事業	名	区分	経費区分	福井県長期ビジョン における位置づけ	関連する県の計画等	実行予算	補助金	その他	事業 開始 年度	経過 年数	令和 7年度 予算額	国庫	起債	その他 特定 財源	一般	拡充		整理統合	引 战 人	廃止	終期の見直し	その他	見直し額
子どもの目と歯の健康プロジェクト	事業	継続	政策的経費	4 住みやすさを高める(地域力)	福井県教育振興基本計画、元気な福井の健康づくり応援計画	0	0		H24	14	6,148				6,148			(1,451
学校安全防災推進事業		継続	政策的経費	4 住みやすさを高める(地域力)	福井県教育振興基本計画	0			H24	14	1,373	1,373						(2,709
はぴりゅうスポーツ広場プロジェク	7ト	継続	政策的経費	1 個性を伸ばす(人材力)	福井県教育振興基本計画、スポーツ推進計画	0			R5	3	2,104				2,104		0						
地域運動部活動体制整備事業		拡充	政策的経費	1 個性を伸ばす(人材力)	福井県教育振興基本計画、スポーツ推進計画	0	0		R5	3	123,681	78,815			44,866	0							
中体連、高体連等主催競技大会における熱中	症対策事業	継続	政策的経費	1 個性を伸ばす(人材力)	福井県教育振興基本計画、スポーツ推進計画		0		R6	2	6,455				6,455		0						
自転車安全利用推進事業		終了	政策的経費	4 住みやすさを高める(地域力)	場中的応募の交生で表示なり用に関するもの 場中物力等等基本が出 場中的の表現の会かれる 場中的の高級の内性をご	0			R4	3										0			302
横断歩道de歩行者ファーストキャンペーン ~「横断アクション・ペコリ	リン運動」の強化~	終了	政策的経費	4 住みやすさを高める(地域力)	福井県教育振興基本計画、第11次福井県交通安全計画	0			R6	1										0			687
給食食材費高騰対策事業		終了	政策的経費	1 個性を伸ばす(人材力)	福井県教育振興基本計画	0			R6	1										0			1,128
ふくいの食育推進事業		新規	政策的経費	1 個性を伸ばす(人材力)	福井県教育振興基本計画	0	0		R7	1	35,070	270			34,800								
						8	4				174,831	80,458			94,373	1	2		2	3			6,277

子どもの目と歯の健康プロジェクト事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内		部局名		教育庁		課名	保	健体育課		課長名	松枝	範恭
事業主	三体	県、市町					自 治 事	務	± ₩		実行予算	事業	H24	年度	事業終了		
事業実施	方法	実行予算、補助	加金		事務区分				事 業 区 分		補助金	開始	経過年数		予定年度 (見直し年	R7	年度
補助	率	県1/2、市町	1/2		2		法定受託	⋾務	L 23		その他	年度	14	年	度)		
福井県長期 における位		泛援]	関連する	県の	計画等	(福井県教育	振興基本	計画、元気	な福井	の健康づくり	応援計				
[解決すべき問	問題・課題]				[問題·課題を	を表す	客観的デ-	-夕]									
			端の児童生徒の害 合む)むし歯のな		,	・視力1.(・むし歯 <i>0</i>)未満)なし	端の小学生(主の の割	割合(R6) 合(R6)		36.89 83.5%		晶井県:34. 井県:79.3			

[事業目的]

生活習慣を見直すことを通して、視力低下の進行を遅くするとともに、トレーニングにより視覚機能の改善を推進する。 正しい歯みがきの仕方を身につけることや乳歯のむし歯治療を促進させることを通して、永久歯のむし歯予防対策を推進する。

[事業内容]

- ○目の健康プロジェクト
- ・目によい生活習慣を身につけるための「生活習慣チェックカード」の活用
- ・「目の健康を守る3か条」運動、「目のリフレッシュタイム」「ビジョントレーニング」の実施
- ○歯の健康プロジェクト
- ・秋に歯科追加検診を実施し、状態観察とむし歯治療を勧告(市町への補助)

対 象:小学校1、4年生 補助率:県1/2、市町1/2

・モデル校でフッ化物による洗口を実施対象・小学校1~6年生

[受益者] 小·中·特	別支援学校の児童生徒	[想定される受益者数]	約60,000人
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)	関連事業の有無・ 役割分担	□ 無 ■ 有 事業名 人生100年時代の歯の健口応援事業(健康政策課) (役割分担) 保健体育課:就学児童生徒 健康政策課:就学児童生徒以外
市町との連携状況	小学1、4年生全員を対象に秋の歯科追加健診を実施	他県の状況	富山県:むし歯予防パーフェクト作戦事業 希望する市町村で小学生を対象にフッ化物洗口を実施

子どもの目と歯の健康プロジェクト事業

区分	継続	経費[区分	(策的経費	要求	基準	内	音	『局名	教育庁		課名	1	保健体育	課		課長名	松枝	範恭
事業主	体	県、市町						■ 自	治 事 和			実行予算	事業	H2	4 f	年度	事業終了		
事業実施	方法	実行予算	、補助金				事 務 区 分			事業区分		補助金	開始	経過年	羊数		予定年度 (見直し年	R7	年度
補助	率	県1/2、	市町1/2				L /3	□法□	官受託事務			その他	年度	14	1	年	度)		
区分	事第	養		国庫	起	債	そ0	D他	_	般財源			[国庫、その	の他財	源の	名称等		
予算額		6,148								6,148	3								
[予算額の推移	多等]																	(単位	江:千円)
	区	分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度				令和7	7年度予算	算額の増	減理日	由			
<u>\</u>	当初予算	額の推移	;	1,300	1,270	7,630	7,599	6,148	3										
2月] 現計予	算額の推	移	960	1,117	7,475	7,599		モデル村	交の実績によ	る減								
	決算額	の推移		901	959	5,269													
R3年度:対象児童数の減																			
[成果指標等の	D推移]																		
	区	分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標			目	標·指標	の考え	方·利	責算根拠		
		未満の小学	生の (目標	(36.9)	(37.9)	(37.8)	(36.8)	(36.8)	(36.8	(36.8)		国平均値を							
成果指標	割合(%)	, (b	実績		37.6	36.6	34.2				*	学校保健統語	計調査よ	り抜粋					
1001010N		ない(処置者 \学生の割る		[81.6]	(82.3)	(82.7)	(83.5)	(83.5)	(83.5	(83.5)		国平均値を							
	(%)		実統	75.9	75.5	78.0	79.3					学校保健統語	計調査よ	り扱粋					
		実施率(%)	(目標		(100)	(100)	(100)	(100)	(100	(100))								
活動指標		に関する指	導 実統		100	100	100					児童に対して							
		実施率(%)	(目標		(100)	(100)	(100)	(100)	(100	(100)) '\z'	講者数/全!	児里 奴						
「声类の冠海」	歯みがき	指導	実約	100	100	100	100												
[事業の評価]	前年度の	実績·成果指	標等の定	量的評価			実績を踏	まえた令私	07年度の変						事業	美評価	ī		
 R6成果指標				<u>= パーパー</u> ついては未達	成.		7017 CDD	5 ., e, e -	F 1 1 1 2 3 2	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~		□拡	充	■ 縮湯			終期の見直し	見直し	
R6活動指標	は目・歯とす					・新たな耳	X組みとして	て実施して	いるモデル	校でのフッ			-	- 4107			#4743.52PEG	7012	Орд
	ない(処置者			はプロジェクト		化物洗I				い実施方法		□ 継	続] 休」	上		完了		1 4 - 1
	ね改善傾向 ことから、新			を依然として ⁻	下回	ひが安証が	ら伝える					□ 整理	統合	〕 廃」	Ŀ		その他		1,451

学校安全防災推進事業

区分継	続経費区分	 政策的経費	要求基準	内	I	部局名	 教育庁	I	課名			1	課長名	松枝	 新共
事業主体	県 県	以水川川村	女小 空 干	[Y		<u> </u>			実行予算			年度		TATX	半じかべ
事業実施方法	三十二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二			事務			事 業		補助金	事業 開始	1124 経過年数	十尺	予定年度	R11	年度
補助率	— XII I. 4			区分	П	法定受託事	路 区分		その他	年度	14	年	(見直し年 度)		十汉
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野〔 政策〔		さを高める(地域力) 治安先進県ふくいの実理)			表の計画等		福井県教育	振興基本		'	IX))	
[解決すべき問題・課題		10 1939. 72		, J	<u>, </u>	[問題・課題を	表す客観的デー	<u>ー</u> 一夕]							
			校中の交通事故、7 対応がより一層必要				家のアドバイ 度末 1009						した学校の	割合	
[事業目的]															
学校における実	浅的な避難訓練や	児童生徒の交通	通安全教育、防災教	対育、防犯教	育を	を充実するこ	とで、安全な	安心を	《学校生活	の確保	を図る。				
[事業内容]															
・モデル地域で	バイザーや緊急地 構築された学校安 の推進	そ全の推進体制で	を活用した避難訓練を県内に普及し、全 ・防犯・交通安全に	≧域で推進位	本制 [;]	を構築、防災	(教育を推進								
[受益者] 小·中	・特別支援学校の児童	産生徒と教職員				[想定される	る受益者数]	約8	32,000人						
前事業の有無・実績	(実績)	業名					美の有無・ 分担	□(役割		≆名					
市町との連携状況	モデル地域(市	町)を指定し、地域ア	内の学校を対象に事業	を実施		他県(り状況	石川	川県・長野県	!学校防災	炎(安全)アト	ヾバイち	ザーを派遣		

学校安全防災推進事業

区分	継続	経費区分) 政策	的経費	要求	基準	内	部。	局名	教育庁	課名		保健体育課		課長名	松枝 範恭
事業主	体	県					= 25	■自	治 事 務		■ 実行予	算事	¥ H24	年度	事業終了	
事業実施	方法	実行予算					事 務 区 分			事業区分	□補助釒	金 開始	台 経過年数	•	予定年度 (見直し年	R11 年度
補助	率						2	□ 法定	受託事務		□ その作	也年月	5 14	年	度)	
区分	事	業費	国属		起	債	そ(の他	一般	財源			国庫、その他	財源の	名称等	
予算額		1,373		1,373							学校安全総	合支援事	業、学校安全教	牧室推:	進事業	
[予算額の推移	多等]															(単位:千円)
	区	分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度			令	和7年度	予算額の増減理	里由		
<u> </u>	当初予算	額の推移		2,592	3,589	2,942	4,082	1,373								
2 }	月現計予	算額の推移	7	2,043	2,558	2,792	3,495		緊急地震	速報装置設	置校の減					
	決算額	の推移		1,736	2,042	2,475			-							
主な増減 上の果指標等の		R5年度:市田 R6年度:特定 緊急	记录的 它小型原付 急地震速報	装置月自転装置の設置	車体験の実増	が 施による派	或 									
27777327137	区			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標			目標・指標の考	え方・		
	学校防災	アドバイザー	 (目標)	(55)	(65)	(78)	(100)	(18)	(62)	(100)						
成果指標	派遣済の 割合(%)	モデル地域の	実績	55	65	78	100				R11年度ま 	でに全て	のモデル地域	へ派遣		
ハエギTTドT並		アドバイザー	(目標)	(32)	(32)	(34)	(36)	(7)	(10)	(8)						
活動指標	派遣数		実績	58	48	55	53									
[事業の評価]									1	1						
	前年度の	実績·成果指標	等の定量的	り評価			実績を踏	まえた令和	7年度の変	更点		T	事	業評価	<u> </u>	
成果指標、活	成果)		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , 									拡充	■ 縮減		終期の見直し	見直し額
·学校防災	アドバイザー	て避難訓練等で -を派遣(53枚 ***により党校の	ξ)	/十, (亡/市积	 			_				継続	口 休止		完了	2,709
		数により学校隊の学校への派		リー派追数	XIA							理統合	□ 廃止		その他	2,700

はぴりゅうスポーツ広場プロジェクト

区分 継続 経費区分 政策的経費 要求基準 内 部局名 教育庁 課名 保健体育課 課長名 松枝 範恭 事業主体 県																
事業実施方法 実行予算 補助率 一 福井県長期ビジョン 分野〔 1 個性を伸ばす(人材力) 事務 区分 □ は定分 □ 本規則 日 本別別 日 本別別 日 本別別 日 本別 日 本別 日 本別 日 本別別 日 本別 日 本別 日 本別 日 本別 日	区分継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内		部局名	教育庁		課名	伢	健体育課		課長名	松枝	範恭
事業実施方法 実行予算 事務 国 補助金 開始 経過年数 1 個性を伸ばす(人材力) 日 法定受託事務 日 補助金 開始 経過年数 1 個性を伸ばす(人材力) 日 法定受託事務 日 その他 年度 3 年 度) 日 法定受託事務 日 表記 日 表記<	事業主体	県			古攻		自 治 事	務事業		実行予算	事業	R5	年度	事業終了		
補助率	事業実施方法	実行予算			事 務 区分					補助金	開始	経過年数	Þ		R7	年度
- 1 - 岡州 小久 小 ニュニュー	補助率						法定受託事	務		その他	4 茂	3	年			
における位置付け 政 策 (1 子どもが主役の「夢と希望」、「ふくい愛」を育む教育の推進] スピン・ダス・ジャロ・オート・コード・カート・フェルニー・フェルー・フェルー・フェルー・フェルー・フェルー・フェルー・フェルー・フェル			1 個性を伸)	関連する	見の計画等	١	福井県教育	振興基本	計画、スポ	ーツ推	進計画			
		政 策〔	む教育の推進)						пщст	· > 1 E	E 11				
[解決すべき問題・課題] [問題・課題を表す客観的データ]	[解決すべき問題・課題]					[問題・課題を	表す客観的テ	ータ]								
・運動をする児童としない児童の二極化が進んでいる。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 - -運動をする児音と	かい児童の二福	な化が進んでい				度小学生の)1週	間の総運動	肺間60)分未満(の割合	男子8.89	% 女子		
ー 建動とする光星としない光星の二個にが遅んといる。 - ・コロナ禍で、児童の運動時間の減少により全国的な体力の低下がみられる。 - 14.4% - 1.3回ナ禍で、児童の運動時間の減少により全国的な体力の低下がみられる。 - 1.6和2年度はカラストの原用中(5年生)用スフ原用、女子5項目で過去暑低を記録					られる。						- 4- \	·	,			-7.47

・令和3年度体力テスト8項目中(5年生)男子7項目、女子5項目で過去最低を記録

「事業目的〕

設定された期間中に、学校の業間や昼休み、家庭等で取り組むことにより、児童の運動に親しむ資質の育成と体力の向上を図る。タブレット端末を利用し、学校でも家庭でも自分の運動記録を入力できるようにすることにより、運動習慣の定着を図る。

[事業内容]

- ○チャレンジランキング対象と期間
- ·県内小学1年生~6年生(約38,000人)
- ·シーズン I (4月~9月)、シーズンII(10月~3月)

○内容

- ・ランキングコース、エンジョイコース、マイペースコース、みんなではぴはぴコースの4つのコースを設定
- ・学校や家庭のタブレット端末から記録を入力
- ・記録の入力をするとポイント(ハピー)が付与され、貯めたポイントでホーム画面を自由にカスタマイズ
- ・個人の記録をシステム内で保存し、取り組みの成果と軌跡を確認

○運営

- ・契約業者にデータ管理・システム補修点検を依頼
- ・管理者アカウント(県・市町・学校)で、情報把握

[受益者] 県内の小	/学生	[想定される受益者数]	約38,000人
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)	関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)
市町との連携状況		他県の状況	石川県「スポチャレいしかわ」 富山県「きときとチャレンジランキング」 ※クラス・学校・グループ単位で登録し、最高記録を入力するもの

はぴりゅうスポーツ広場プロジェクト

区分	継続	経費区分) 政策	的経費	要求	基準	内	部	局名	教育庁	調	果名	保	健体育課		課長名	松枝	範恭
事業主	E体	県					+ 2h	■自	治 事 務		■ 実行	予算	事業	R5	年度	事業終了		
事業実施	方法	実行予算					事務区分			事業区分	□補」	助金	開始	経過年数	ζ	予定年度 (見直し年	R7	年度
補助	率							□ 法定	受託事務		□ そ(の他 ·	年度	3	年	度)		
区分	事	業費	国庫	Ī	起	2債	そ(の他	一 舟	段財源			国	庫、その他	財源の	名称等		
又笞妬		2,104								2,104								
予算額		2,104								2,104								
[予算額の推移		·			•		•										(単位	<u>た:千円)</u>
	区	分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度				令和7年	度予算	額の増減	浬由			
<u>}</u>	当初予算	額の推移				10,853	2,104	2,104										
2 月	月 現 計 予	算額の推移	;			10,358	2,104											
	決算額	の推移				10,340												
主な増減	前年度までの 主な増減理由 R5年度:システム構築 → システム保守移行のため [成果指標等の推移]																	
L 成果指標等0		^		- -			45-									(+ 66 LD lbs		
	区	分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標		7	ロギの粉は		い指標の表	きえ万・ク	慎 昇 根拠		
	小学5年: 総運動時	生の1週間の 間(分)	(目標)				(男648,女406) 男569,女369		(男648,女406) (男648,女406)	::::::::::::::::::::::::::::::::::::::	闘前の数値 運動習慣 ³	等調査	より抜粋	ログキチント			
成果指標		生の1週間の	実績			_			(里5.9 女10.6) (男5.9,女10.6)		システム権 B前の数値			に傾なし	<i>'</i>		
		間が60分未	(目標)			_	男8.9,女14.8		()33.7,210.0	()33.3,210.07	::::::::::::::::::::::::::::::::::::::	運動習慣	等調査	より抜粋	ロ ぐ主 ナハ			
	神の制造	(מל)	実績			_	(100)	(100)	(100)	(100)	• -	システム権 小学生対象			で傾分し	,		
活動指標	県内児童	での参加(%)	(目標)			_	98		(100)	(100)	※児童生	生徒の登録	录率		主体が			
 [事業の評価]			実績				70				%K219	ンステム作	再来077	この口信:	大順る	<u> </u>		
		実績·成果指標	等の定量的	的評価			実績を踏	まえた令和	7年度の変	更点				事	業評価	Б		
70K# 7	「手」」と1本 、 土	-										拡充		縮減		終期の見直し	見直	し額
成果指標、活		いた本達成				 授業等^	への活用を積	責極的に推進	進し、参加率	の向上		継続		/ / .L		完了		
・指標となる	る運動習慣	等調査の集計時 始した4月から			り、			の習慣化を				松 枕		休止		元」		
	ル圧川 こ川	刈した十刀 ひつ	当11512111501150	ノノこノしひノ		I					ı	整理統領		廃止				

中体連、高体連等主催競技大会における熱中症対策事業

区分継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内		部局名	教育庁		課名	伢	健体育課		課長名	松枝	範恭
事業主体	県			= 2h		自 治 事	務		実行予算	事業	R6 :		事業終了		
事業実施方法	補助			事務			事業区分		補助金	開始	経過年数		予定年度 (見直し年	R8	年度
補助率	県10/10					法定受託事	務		その他	年度	2	年	度)		
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野〔 政 策〔		ばす(人材力) か「夢と希望」、「ふくい愛」を育	む教育の推進)	関連する	県の計画等	ί	福井県教育	振興基本	計画、スポー	ツ推進	計画)	I
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を	表す客観的デ	<u>ー</u> タ]							
・上位大会・学校行事等 ・各連盟単独では費用				:\\ <u>.</u>			高体連・高里 F度:中学校				ける熱中症	疑いに	よる救急	搬送状剂	況
[事業目的]						L									
近年気温が上昇する	る中でも開催され	れる中体連・高値	体連・高野連の主	催大会にお	らいて	、大会に参	加する中高生	生が	安心して競	技に臨る	むことがで	きる環	環境を整備	する。	
[事業内容]															
○中体連、高体連ま ・ミストファンやス	ポットクーラー	等の借用・設置		き整備											
・直射日光を避けるために増設するテントの借用 ・設置 ・重症化リスク軽減のための看護師の派遣、経口補水液の常備及び製氷機の借用・設置 ○福井県中学校夏季総合競技大会(7月開催)															
·対象競技:全17	競技		1 C V C C C C C C C C C C C C C C C C C C	左连											
○北信越中学校総 ・対象競技:全16	競技		1度、次四令和12	牛医											
○福井県高等学校 ・対象競技: 陸上競	競技・水泳・テニン	ス・ヨット・ボート	、・登山・カヌー(75	競技)											
〇北信越高等学校(催)													
・対象競技:水泳(○高等学校野球選	贶冰、小球 <i>)</i> 毛梅大会福井大	·会(7日閏催)													
○北信越地区高等	学校野球福井大	会(9月開催)													
	学生、高等学校生					[想定され	る受益者数]	糸	142,000人						
	■ 無								無						
		業名								事業名					
 前事業の有無・実績	(実績)						業の有無・	(役	割分担)						
1333.513711 2012						役割	川分担								
市町との連携状況						他県	の状況		山県、石川県 ハずれの県に		、長野県 7月~9月に	大会を	実施		

中体連、高体連等主催競技大会における熱中症対策事業

区分	継続	経費区分	政策	的経費	要求	基準	内	部	局名	教育庁		課名	任	R健体育課		課長名	松枝 範恭	<u>.</u>
事業主	体	県					= 2h	■自	治事			実行予算	事業	R6	年度			
事業実施	方法	補助					事務			事業区分	•	補助金	開始	経過年数		予定年度 (見直し年	R8 年	-
補助	率	県10/10						□ 法定	受託事			その他	年度	2	年	度)		
区分	事業	費	国庫	Ī	起	債	そ(D他	_	般財源			Ξ	庫、その他	財源の)名称等		
予算額		6,455								6,455								
[予算額の推利	多等]								_								(単位:千円	円)
	区	分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度				令和7	丰度予算	算額の増減理	里由			
È	当初予算	額の推移					4,388	6,455	7~9E	に対象となる	な連明	主催大会が増	はるた	め				
2 月	月現計予算	算額の推移					3,145		・北信却	中学校総合競	竞技大	会(中体連主	催)※	5年に1度、	次回令	和12年		
	決算額	の推移							・北信越	福等学校体育	育大会	:(局体建王惟) %!	5年に1度、次	火四令	和12年		
前年度ま 主な増減 に成果指標等の	找理由																	
	区	分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標			目相	票・指標の考	え方・	積算根拠		
成果指標	対象競技生率(%)	での熱中症発	(目標) 実績				(0.38) (0.29)	(0.38)	(0.38	(0.38)	3111	中症発生率を R5:0.76%				(下とする。 女/対象競技の)参加数)	
活動指標		策実施競技数	(目標) 実績				(25) 25	(44)	(44	.) (44)	対	象となるすべ	ての競技	支で対策を	実施			
[事業の評価]		b续. 出田比描5	生の中見が	¬=亚/≖			中华大吼	キシナ 今 和	ワケー	大声上				a	₩ =π/			
	削牛及のき	実績・成果指標等	守い正里り	Ya * 1四			夫領を始	まえた令和	7年度の3	是					業評価			
成果指標、活 (事業による		に達成										□ 拡充 		縮減		終期の見直し	見直し額	
・設備面で	の熱中症防」	上の対応強化に な体制の整備に						_				■ 継続	t	休止		完了		
	数を減少				•							□ 整理総	合	廃止		その他		

地域運動部活動体制整備事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内		部局名		教育庁		課名	保	健体育課		課長名	松枝	範恭
事業主	⊑体	県、市町			± ₹⁄7		自 治 事	務	± **		実行予算	事業	R5	年度	事業終了		
事業実施	方法	実行予算、補助	金		事務区分				事 業 区 分		補助金	開始	経過年数	ζ	予定年度 (見直し年	R7	年度
補助	率	県1/2、市町	/2(一部 国)				法定受託	F務	E 23		その他	年度	3	年	度)		
福井県長期 における位		む教育の推進)	関連する			(福井県教育	振興基本	計画、スポ	ーツ推	進計画)				
[解決すべき問	問題・課題]			[問題·課題	を表す	「客観的デー	-夕]										
			Éめるにあたってに ニ行政支援の在り	えクラブ				動の競技症がない運		がない教員 活動	中学校 中学校7:		R3日	本スポーツ協 〃)	3会調査)		

「事業目的」

令和5年度以降の休日の運動部活動の段階的な地域移行と地域スポーツ環境の一体的な整備に向け、スポーツ団体等の整備充実、指導者確保、参加費用負担への支援等を総合的に推進し、地域において持続可能な中学生のスポーツ活動の機会を確保することを目的とする。

[事業内容]

- ○コーディネーター配置支援等体制整備
- ・県に総括コーディネーターを配置し、市町を越えた困難な課題に対応する。
- ・市町に関係者との連絡調整・指導助言等を行う総括コーディネーターを配置する。
- ・各地域の協議会設置等の地域移行に向けた体制を構築する。(事務局運営費)
- ・地域スポーツ活動の運営団体と中学校との連絡調整・安全管理、指導者派遣管理等を行うコーディネーターを配置する。
- ○運営団体・実施主体の整備充実
- ・地域スポーツ活動の運営団体の整備充実のため、活動に必要な事務局員の人件費等について支援する。
- ○指導者配置支援等体制整備
- ・休日の地域スポーツ活動において、実技指導を行う指導者を配置する。
- ○参加費用負担の支援
- ・経済的に困窮する世帯の子どもが地域スポーツクラブ活動に参加できなくならないよう、地域移行に伴い新たに必要となる会費等についての支援を行う。
- ○指導者研修会の開催
 - ・地域スポーツ活動を安全で適切に行うため、地域の指導者向けに研修会を開催する。

[受益者] 運動部港	活動に参加する生徒	[想定される受益者数]	約13,000人
前事業の有無・実績	□ 無 ■ 有 事業名 部活動地域移行研究事業 (実績) [令和3年度] 県内モデル地域(鯖江・美浜)において実践研究を実施 [令和4年度] 県内モデル地域(福井・大野・鯖江・美浜)において実践研究を実施	関連事業の有無・ 役割分担	□ 無 ■ 有 事業名 地域文化活動体制整備事業(義務教育課) (役割分担) 保健体育課: 運動部活動の地域移行を推進 義務教育課: 文化部活動の地域移行を推進
市町との連携状況	受け皿となる地域団体や指導者の確保、コーディネーターの配置など体制を整備する。	他県の状況	国の方針を受け、全都道府県が休日の運動部活動の地域移行への 取組みを行う。

地域運動部活動体制整備事業

区分	拡充	経費区分	政策	的経費	要求	基準	内	剖	局名	教育庁	副	課名	保	健体育課		課長名	松枝	範恭
事業主	E体	県、市町						■自	治 事 3		■ 実行	行予算 📗	事業	R5	年度	事業終了		
事業実施	施方法	実行予算、補助	助金				事 務 区 分			事業 区分	■補	助金	開始	経過年数		予定年度 (見直し年	R7	年度
補助	率	県1/2、市町	1/2(-	部国)			L 23	□ 法定	受託事		□ そ	の他	年度	3	年	度)		
区分	事	業費	国庫	Ī	起	遺	そ(の他	_	般財源			国	庫、その他	財源の	名称等		
予算額		123,681		78,815						44,866	地域ス	ポーツクラ	ラブ活動	体制整備事	丰業			
[予算額の推	· 移等]	<u>.</u>							<u>.</u>		•						(単位	::千円)
	区	分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度				令和7年						
	当初予算	額の推移				36,012	72,445	123,681										
2.	月現計予	算額の推移				34,331	55,552			移行する部沿 コーディネー								
	決 算 額					30,340				コーノイホー	ター的連り	にみの相						
主な増減 上 に成果指標等(
[190]K]B]W	区	 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	景			日標	雲・指標の考	(え方・)			
成果指標	休日の活	動を地域に移 活動数(部活)	(目標) 実績			(152) 176	(338)	(675)		(675)			すべて				対象地域に	 _移行
活動指標	地域移行町数(市區	Fに取り組む市 町)	(目標) 実績			(14) 17	(17) 17	(17)	-	(17)	県内17	7市町						
[事業の評価]					1	_		1.		1	'							
	前年度の	実績・成果指標等	等の定量的	外評価			実績を踏	ほえた令和	17年度の変	更点				事	業評価	<u> </u>		
成果指標、流		らに達成									標 目標・指標の考え方・積算根拠 5) R7年度末までにすべての中学校の休日運動部活動を対象地域 (約675部活動)							
・R6年度	には県内17	市町で運動部活	動の地域は	移行の取組	みに			_				継続		 休止			見退(ノ観

自転車安全利用推進事業

区分	 終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内		部局名	 教育庁		課名	L 经	 R健体育課		課長名	松枝	範恭
事業主	体	県					自 治 事	務		実行予算	事業	R4	年度	事業終了		
事業実施	方法	実行予算			事務区分			事業区分		補助金	開始	経過年数		予定年度 (見直し年	R6	年度
補助率	K	_					法定受託事	務		その他	年度	3	年	度)		
福井県長期と	ごジョン	分 野〔	4 住みやす	さを高める(地域力))			_			全で適正な利				
における位		政 策〔	16 防災·治	安先進県ふくいの実理	現)	関理する	県の計画等	\	福开県教 福井県自		本計画、福井 唯進計画	F県交i	迪女全計 画	_	J
[解決すべき問	 題·課題]						[問題・課題を	表す客観的デ	一夕]	<u>шилиг</u>						
時の安全	利用が努力	力義務化		別において、自転車			指導警告	票交付数にる	おける	る高校生 <i>の</i>)割合 4	l8.3%(⁴	令和6	5年度)		
	から連転を	など、高校生の)目転車乗車マナ	ーについて指摘は	あり											
[事業目的]																
│ 県内高校 │ の継続を目		援学校生の国	自転車乗車時の!	安全利用を普及・昂	答発すると	ことも	らに、学校にる	おける関係機	機関と	この連携体	制を構築	終し、交通5	安全に	に係る取り糺	組み	
[事業内容]																
	- /-/- 224 1 -1- 1->	· └ ┙ シム □Ⅵ ┿┺♡	7 24 1 + 	- 	// == ₩ /- r											
・地域と連	連携した自	よい特別文援 転車教室の開 時の街頭指導]催	目転車安全利用推議	進事業を表	天 他										
	と教材の作		,													
[受益者]	県内の高等	学校生、特別支	援学校生				[想定され	る受益者数]	約	21,000人						
		無								無						
	[] 有 事	業名							有 특	事業名	自転車安全	全利用	推進事業(県	民安全課)
前事業の有無	冊•宇繕	実績)					関連事	業の有無・	(役	割分担)						
III IIIX V/F#	無 · 大 傾						役割	引分担	人	何の国知 4	모除松스로	8日の関シ 1	宣松 妻	首向け自転車	数字の関心	岸 笙
									*		不呼失小心 口 元		二山風口	11917日料+3	メモッカガリ	臣寸
市町との連	携状況						他県	の状況								

自転車安全利用推進事業

区分	終了	経費区分	政策	的経費	要求	基準	内		部局名		教育庁		課名	I	保	健体育!		課長	長名	松枝	範恭
事業主	E体	県			•		# 2 47	■自	治 事	務	≠ ₩		実行予	算	事業	R4	年度				
事業実施	方法	実行予算					事務区分				事 業 区 分		補助:	金 『	開始	経過年	数) 予定 (見直	年度 [し年	R6	年度
補助	率							口法	定受託	事務			そのイ	他	丰度	3	年				
区分	事	業費	国庫	Ī	起	債	そ(の他		一般	財源				国	庫、その	他財源	の名称等			
予算額																					
[予算額の推和	多等]																			(単位	立:千円)
	区	分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度					令	和7年	度予算	額の増減	越理由				
ì	当初予算	額の推移			420	322	302														
2 /	月現計予	算額の推移			420	322	302														
	決 算 額	の推移			302	302															
主な増減 [成果指標等の		R5年度:見本R6年度:計画																			
	区	分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目	目標	最終目標				目標	標・指標の	考え方	•積算根	処		
成果指標	警察と連 全に係る 続する学	携した交通安 取り組みを継 校数	(目標) 実績		(15) 13	(29) 28	(42) 42		(,	42)	(42)	R64	年度に	100%							
(千番)+15+番	警察と連	携した交通安 取り組みを行	(目標)		(15)	(29)	(42)		(4	42)	(42)										
活動指標	主に係る った学校	取り組みを行数	実績		13	28	42														
[事業の評価]																	VIV	- 1			
	前年度の	実績·成果指標等	等の定量的	勺評価			実績を踏	まえた令	和7年度0	の変ま	点				T		事業評	' 価	T		
 成果指標、活	5動指標とも	らに達成												拡充		縮減		終期の	見直し	見直	し額
(事業による	成果)	は交通安全教室	を実施し	た学校数:´	4校			_	_					継続		休止		完	了		302
													□ 뢒	整理統 台		廃止		その)他		

給食食材費高騰対策事業

	,	_,	_ ,			1==-						1			
	終了 経費区分	政策的経費	要求基準	外		部局名	教育庁 	: 	課名	保	健体育課		課長名	松枝	範恭
事業主体	県			事務		自 治 事	務事業			事業	R6	年度	事業終了 予定年度		
事業実施方法	実行予算			区分			事業区分] 補助金	開始	経過年数		「見直し年	R6	年度
補助率	_			_ /3		法定受託事	務		その他	年度	1	年	度)		
福井県長期ビジョ		1 個性を伸	ばす(人材力))	関連する	県の計画等	- I	福井県教育	5塩剛生木	計画			٦	1
における位置付	カー 政 策〔	1 子どもが主役の	の「夢と希望」、「ふくい愛」を育	ずむ教育の推進)	因任する	ボッド回日子		油开木扒片	现光垫件					,
[解決すべき問題・記	果題]					[問題・課題を	表す客観的	データ]						
 ・食材費の高曜	により提供できる約	合食の質と量に:	支暗が出る可能性	がある。									. 137		
	の値上げにより、家庭					全国消費	者物価指数	双(総)	務省)… コ	メ類前	年度比4	4. 79	6増		
- 1 - 1 - 1 - 1 - 1															
[事業目的]															
主食を中心と	ノ た急激な食材費の	ト昇に対応する	ため. 給食食材費	に対するさ	ヶ援を	を行うことに	- より、保護	老負	扣増を同場	乳つつ約	合食の質と	- 量を	確保する。		
<u> </u>	7 C/B//// 0. DC 1 JC 7			(1-)/1 / 0/	~1/~ `		201717171	. ப / \		<u> </u>			FE / 1 0 0		
[事業内容]															
		4+ DU + 140 241+1	- -	-	10 M	#E/1E OF	\ -								
│ ○県五中子・修	間定時制高等学校	'特別文 <u></u> 援子校I	こ対し、良材質の値	旦上かり分々	怕当:	額(15.8円)を貝担								
[受益者] 県立	 中学·夜間定時制高等学		 の生徒			[想定され	 る受益者数]	弁	勺2,000人						
	□無								無						
		業名 給食食材質	事字滕孙亲重業							事業名	給食食材料	書 三曜	対策事業(児童	音家庭理`)
	(実績)		具间临 灯水中未			1月,早年3	学の左無 。		· B· · · · · · · · · · · · · · · · · ·	PA-U	#LLX 1X173	尺门加	水子木 (元)	巨小风山	,
前事業の有無・実	績 (大順)						業の有無・ J分担	(1)	くロッソッピノ						
	支援額 13,59	6,000円					17.1=						校·特別支援	学校	
	対象校 県立中	学・夜間定時制高等	等学校·特別支援学校					ر ا	見童家庭課:私	ム立保育所	、認定こど	も園、幼	功稚園		
									タンの物学点	目1-+/1 / -	╸₩┲╩	- 吃口土ブ	とけるとその	⇔₩	3.M
市町との連携状	況					他県	の状況	3	タくい郁退付! 5援や保護者	未にめい(負扣減(終	、、地力剧生	:芔吁シ などの	と付金を活用し 支援・補助を3	ス良付質 E施	ַנט
										ディニ//% (小L		ره ب	~1∝ 1mm) C 2	へルビ	

給食食材費高騰対策事業

区分	終了	紹	E費区分	政策	的経費	要求	基準	外		部局名		教育庁		課名		保	建体育認	#	Ē	課長名	松枝	範恭
事業主	体	県							■ 自	治 事	務			実行予?	算事	業	R6	年周		業終了		
事業実施	方法	実行	予算					事務区分				事 業 区 分		補助釒	金 開	始	経過年	数	子	ら 発定年度 見直し年	R6	年度
補助	率	_							□法	定受託	事務	- 23		その作	也	度	1	年		度)		
区分	事美	養		国庫		起	債	そ(の他		一般	財源				国原	重、その	他財源	の名称	尔等		
予算額																						
[予算額の推移	多等]																				(単位	立:千円)
	区	分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度					令	和6年度	予算	額の増減	理由				
<u> </u>	当初予算	額の推	隹移					1,128														
2 月	月現計予	算額の)推移					1,128														
	決算額	の推利																				
前年度ま 主な増減 [成果指標等の	找理由																					
	区	分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間	目標	最終目標				目標	・指標の	考え方	ī·積算	刺刺		
成果指標				(目標) 実績									給負	食の量・党	栄養価の	確保	を目的と	こしてお	らり定量	量的評価は	困難	
活動指標	支援する	学校数((校)	(目標) 実績				(11) 11					県江	立中学・福	友間定時	制高等	等学校・	特別支	援学核	交		
[事業の評価]		中华、代	:田比梅华/	N 후 본 산	= 1 / I I			中华大阪	±>+ <i>A</i>	和7年時	小赤百	5上						中茶红	17/III			
	削平皮の	天禎・仪	果指標等の	ル化里的	Ja平1川			実績を踏	よんに _下	州 / 平皮	い変す	上 二			11-			事業評				
 活動指標を違	達成														拡充		縮減			朝の見直し	見直	し額
(事業による ・従来どお	成果) りの質や量 [:]				夕 了				-	_					継続		休止]	完了		1,128
※国の地方館	引土坳时父们	り立りが	ぐ」に行い	尹耒でか	⋞ 」									□ 整	隆理統合		廃止] -	その他		1,120

横断歩道de歩行者ファーストキャンペーン ~「横断アクション・ペコリン運動」の強化~

区分終了	経費区分	政策的経費	要求基準	内		部局名	孝	教育庁		課名	保	健体育課		課長名	松枝	範恭
事業主体	県			古双		自 治 事	務		■ 3	実行予算	事業	R6	年度	事業終了		
事業実施方法	実行予算			事務			=	事 業 区 分		補助金	開始	経過年数		予定年度 (見直し年	R6	年度
補助率				L /3		法定受託	喜務 .	_ /3		その他	年度	1	年	度)		
福井県長期ビジョン	分 野〔	4 住みやす	さを高める(地域力))	関連する	10の計画	而 笙	l r ;	宣士周教夸	塩剛基木計	画 第11次	垣出旧え	交通安全計画	`	
における位置付け	政 策〔	16 防災·治	安先進県ふくいの実施	現)	対圧する	· ポップロ [[四寸	(1	田开示扒月		四、矛门八	囲开示ス	人但女王可凹	,	
[解決すべき問題・課題]						[問題·課題る	を表す客	観的デー	-タ]							
 ・福井県においては、信	号機のない横断さ	歩道での車の停」	上率が低い。			 信号機の	ない横	断歩道	首停止	率調査に	おける	富井県の	停止率	∝(R5) 26	5.7%	
・横断歩道の横断時にな						※前年度						H)) ()		()		
[事業目的]																
各小中学校においる	て、横断歩道を渡	食る際のあいさ	つ等について重点	的な指導	を新	たに行い、	步行者的	則の事	故リス	クの低流	域を図る	0				
[事業内容]																
○学校と警察の連打	焦による指導															
・児童・生徒に対し	、信 号機 のない	横断歩道におい	ヽて、学校と警察に	よる横断	後の	重点的なあ	いさつ	指導を	行う							
·季節ごとの交通 <u></u>	安全県民運動の	期間に合わせて	て、期間ごとに15ホ	交程度を選	選定											
※年間50校程度	度を想定、5年間	で県内小中学村	交全269校で活動	を実施												
 ○各学校における約		≨h														
			のCDを制作、各等	学校に 送ん	出し、業	間等に校内	対決で	ベ呼でドナ	5\I+							
・県民安全課で制] () / .	3 17							
	12 1				_											
	 交の児童生徒					[想定され		 者数]	約6	人000,0						
	■ 無					2,0,1,0,0			■ 無	.,						
	□有事業	≝夕									業名					
	(実績)	х.П				即庙市	業の有無	.			- -					
前事業の有無・実績							来の行用 割分担	#,	(IXD)) 1=/						
										IAK as to a	ن ند یا ر سرار شد ا	<u> </u>	/ A == =	· \		
										機のない 県:80.		亭止率調査)	(令和6	年度)		
古町との連携出行						ДЫ≡	の作品			山県:31.	6%(47位	, ב')				
市町との連携状況						他乐	の状況		I							

長野県:87.0%(1位) ※運転者へのアイコンタクト、お辞儀を奨励

横断歩道de歩行者ファーストキャンペーン ~「横断アクション・ペコリン運動」の強化~

区分	終了	経費区分	政策	的経費	要求	基準	内	部	局名	教育庁		課名	<u> </u>	保	建体育課		課長名	松枝	範恭
事業主	E体	県						■自	治事			実行予	P算 事	業	R6	年度			
事業実施	方法	実行予算					事務			事業区分		補助	金 開		経過年数	ζ	予定年度 (見直し年	R6	年度
補助	率							□ 法定	受託事			その	他	- 支	1	年	度)		
区分	事業	養	国庫	<u> </u>	起	!債	₹0	の他	-	般財源				国国	車、その他	財源の)名称等		
予算額																			
[予算額の推移	多等]																	(単位	::千円)
	区	分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度				ร์	令和7年度	医予算额	額の増減	理由			
}	当初予算	額の推移					687												
2 月	月現計予	算額の推移					224												
	決 算 額	 の推移																	
前年度ま 主な増減 [成果指標等の	域理由																		
	区	分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目	標 最終目標	5			目標	・指標の考	きえ方・	積算根拠		
成果指標	横断歩道	停止率(%)	(目標) 実績				(53.0) 34.7	(53.0)	(53.	0) (53.0	11		でに全国 団法人日:			査より	抜粋		
活動指標	数	実施した学校	(目標) 実績				(269) 269	(269)	(26	9) (269) 全	さての学	校におい ⁻	て取組	みを実施				
[事業の評価]		中结 计用比插纸	노 ^ 다 된 1	5=17 /TE			中华一水	+>+ &1	ロケ中の	杰韦上					Ħ	च २४ = क्र <i>।</i>			
 活動指標に [*]		実績・成果指標等 成	チリル正里は	75半1四			夫領を蹈	まえた令和	/ 平皮の	交						業評価			
成果指標につ	ついては 未 〕												拡充		縮減		終期の見直し	見直し	ノ額
している	によりR8年 ため	度までに全国平	均を上回	る事を目標	票と			_					継続		休止		完了		687
横断歩道停」	止率は改善	頃向にある ·算で取組みを維	 迷続										整理統合		廃止		その他		

ふくいの食育推進事業

区分新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内		部局名		教育庁		課名	保	健体育課		課長名	松枝	範恭
事業主体	県			古文		自 治 事	務	古 类		実行予算	事業	R7	年度	事業終了		
事業実施方法	実行予算			事務区分				事 業 区 分		補助金	開始	経過年数	ζ	予定年度 (見直し年	R9	年度
補助率						法定受託事	務	L /3		その他	年度	1	年	度)		
福井県長期ビジョン における位置付け	分 野〔 政 策〔		ばす(人材力) D「夢と希望」、「ふくい愛」を育	む教育の推進)	関連する	県の詞	計画等	ĺ	福井県教育	振興基本	計画)	
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を	表す	客観的デー	-夕]							
・健康課題を抱える・地場産物を活用し										関する指導	回数(R		県 7.	設状況調査 8回(栄養教 アート))

[事業目的]

児童生徒の健康課題の解決を図るとともに、ふるさとの歴史や文化等を学ぶ「食育」を推進する。

[事業内容]

- ○食育による健康課題対策支援事業
- ・先進的な取組みについて学ぶ研修会を実施
- ・WGを立ち上げ、健康指導についての調査研究を実施
- ○地場産食材による「食育」事業
- ・学校給食に地場産食材を使用した副食の追加(プラスワン給食)を実施する市町に補助
- ・各学校において「食育」を実施(隔月1回※)
- ※市町独自の地場産給食1回実施につき1回の事業活用が可能(県、市町で年間12回の事業実施を想定)

[受益者] 学校給負	食を利用する県立小中学校の児童生徒	[想定される受益者数]	約58,000人
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)	関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)
市町との連携状況		他県の状況	石川県:教育委員会としての補助なし 富山県:教育委員会としての補助なし ※地場産への補助は農林水産部局と給食会が連携して実施

ふくいの食育推進事業

区分	新規	経費区分	政策	的経費	要求	基準	内	部	局名	教育庁	課名		保健体育課		課長名	松枝 範	恭
事業主	E体	県						■自	治 事 務		■ 実行予算	事業	R7	年度	事業終了		
事業実施	拖方法	実行予算					事務区分			事業区分	■補助金	開始	経過年数		予定年度 (見直し年	R9	年度
補助	率							□ 法定	受託事務		□ その他	年度	1	年	度)		
区分	事	業費	国庫	Ī	起	.債	そ(の他	——舟	段財源		•	国庫、その他	財源の	名称等		
予算額		35,070		270						34,800	食に関する傾	建康課題文	対策支援事業				
[予算額の推移	多等]															(単位: -	 千円)
	区	分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度			令和	17年度予	算額の増減理	里由			
	当初予算	額の推移						35,070									
2 .	月現計予	算額の推移															
	決 算 額	の推移															
前年度ままな増減	或理由																
[成果指標等(T	T								
	<u>区</u>	分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標			E	目標・指標の考	え方・私	責算根拠		
成果指標		がには何があるいるといる児童生徒 いる児童生徒 が)	(目標) 実績					(80)	(85)	(90)	食に関するア	?ンケート	調査より				
活動指標		食を活用した 月実施した市	(目標) 実績					(17)	(17)	(17)	全市町での乳		票とする				
[事業の評価]			20170														
		実績·成果指標等		り評価			実績を踏	まえた令和	17年度の変	更点			事	業評価	j		
		実績・成果指標等		为評価			実績を踏	まえた令和	 7年度の変	更点		広充	事□ 縮減		終期の見直し	見直し	頂
		実績・成果指標等 —		为評価			実績を踏	 まえた令和 -		更点						見直し	預